

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿
武豊町議会議員 松本 万之
一 般 質 問 の 通 告 に つ い て
令和8年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. アスパ製造作業の今後について	【趣旨説明】アスパ(発酵合成型有機肥料)とは、アンスメルパウダーの略称になり、主に米ぬか、もみ殻、糖蜜に EM 菌(有効微生物群)の培養液を混和させ発酵してから乾燥させたものをいいます。 効能といたしまして生ごみにこのアスパを振りかけることにより、腐敗させずに発酵させるため、生ごみを堆肥化する際の悪臭(腐敗臭)を和らげる役割及び生ごみの発生を軽減させていきます。 尚、アスパを継続的に活用することによって、堆肥としての利活用が出来て、畑や庭及びプランター内での微生物の活動が活発に行われ、土壌の持っている本来の力を回復させていき、家庭や自治体での生ごみリサイクルや土壌改良に利用され、一般的に生産力の向上に役立つとも言われています。 さて、1993年(平成5年)より本町では、アスパを製造する団体が有志で発足し今日に至り、町内ではこのアスパを所望される方へ、役場環境課窓口を通して無料配布していますが、現行では製造に携わっているメンバーの高齢化(70~80歳がメイン)が顕著になり、今後いつまでもこのアスパ製造作業が続けていけるかが、困難な状況になってまいりました。 そこで本町としてはこの「アスパ」に関する製造の実態や今後の需要状況等を踏まえ、以下の質問をします。

【質問事項】

- ①現在役場（環境課）と中央公民館にアスパ完成品を提供していますが、配布状況や使用頻度の把握で月別に統計は取られているのか
- ②これまでに「アスパ」についての町民の方からの質問や意見などで、どのような問い合わせがあるか
- ③近隣他市町のアスパ製造状況はどのようになっているか
- ④家庭から排出されたごみの減量に一定の効果がみられたため、令和7年度をもって生ごみ堆肥化容器設置補助金を終了されたとあるが、具体的にどの程度の効果が見られたのか
- ⑤月2回のアスパ製造作業場所が、中央公民館駐輪場と翌週行なう天日干し作業場所が一部の町道を使用しているが、より良い環境での作業場所の提供は考えているか
- ⑥現行のアスパ製造からより良いクオリティーを求めるために、専門的な技術指導を行なう予定はあるか
- ⑦現行では作業従事者の減少と高齢化に伴い今後の活動事態に不安を抱えているが、町としてはこの「アスパ造り存続」に対して、どのような考えをもたれているのか